

(別紙様式1)

## あいさつ運動の好事例

玉野市立玉原小学校

(児童数 225名 教職員数 26名)

「いってらっしゃい」と「おかえり」は  
玉中学校区の「愛言葉」

### アピールポイント

- ・毎月、県下一斉あいさつ運動に合わせて校門で1週間あいさつ運動を行っている。
- ・加えて、中学校区の小中学校で「小中連携合同あいさつ運動」も実施している。  
(中学校の試験期間中に合わせて)
- ・学校支援ボランティアの安全パトロールの方・保護者も参加している。
- ・今年は5月に、玉野市長参加の取り組みも行われた。

### 実際の様子



### 取組の概要

#### ■児童生徒の実態

自分から進んで大きな声であいさつができる児童が少ない。

#### ■活動内容

毎年、県下一斉あいさつ運動に合わせて児童会を中心として校門で1週間あいさつ運動を実施している。それに加えて一昨年から「小中連携合同あいさつ運動」を始めた。中学校の試験期間中に合わせて年間4回実施予定。教職員も分担を決め年間2回は地域の危険箇所にも立っている。

#### ■取組の参加メンバー

地域の危険箇所でも教職員、保護者が参加している。学校支援ボランティアの安全パトロール隊、地域住民も多数参加している。校門では児童会が中心となって実施。

#### ■成果・効果

自分が運動に参加することにより、自覚が芽生え、進んであいさつすることができるようになり、地域の人からほめられるようになった。しかし声の大きさはまだ小さく、登下校以外の時間帯でのあいさつもまだ十分とは言えない。